

## **AXIS P1375 Network Camera**

**ユーザーマニュアル**

# AXIS P1375 Network Camera

## 目次

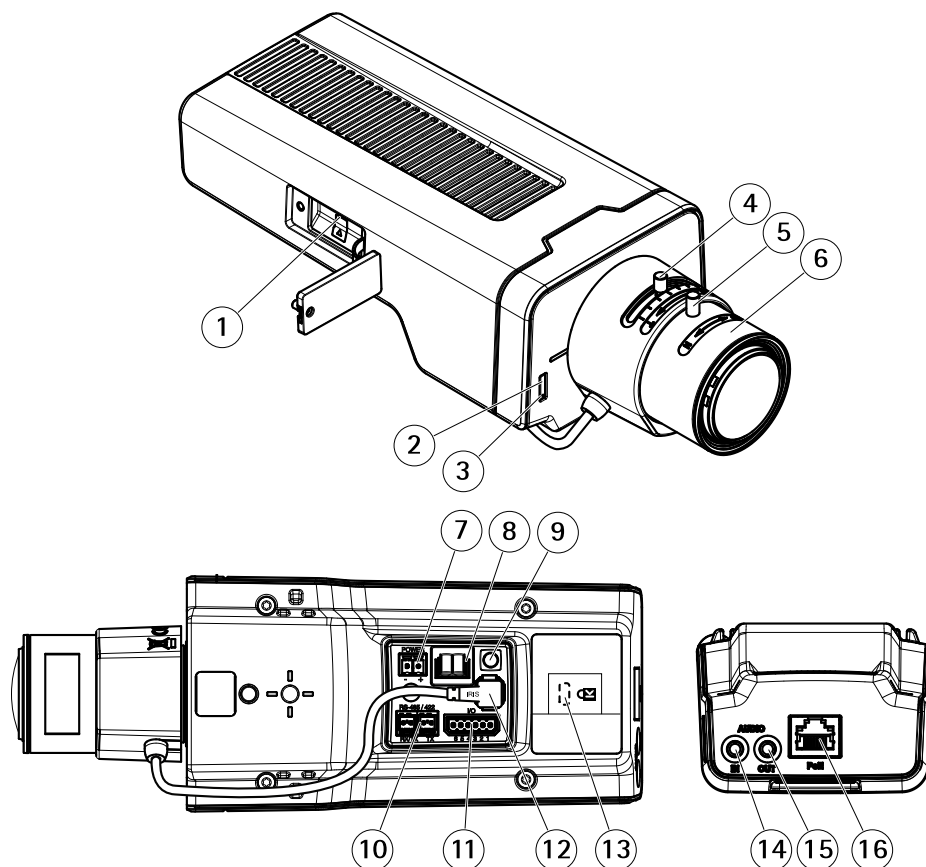
---

<b>製品の概要</b> .....	3
<b>ネットワーク上のデバイスを検索する</b> .....	4
デバイスへのアクセス .....	4
ファームウェアが改ざんされていないことを確認する .....	4
安全なパスワード .....	4
<b>設定</b> .....	6
さらに支援が必要ですか? .....	6
レンズの交換 .....	6
プライバシーマスクで画像の一部を非表示にする .....	6
低光量下でノイズを減らす .....	6
露出モードを選択する .....	7
最大限に詳細な画像を撮影する .....	7
細長いエリアを監視する .....	7
顔認識を向上させる .....	8
ヒューズエラーについて .....	8
逆光の強いシーンを処理する .....	9
デバイスが動きを検知したときにビデオストリームにテキスト オーバーレイを表示する .....	9
ビデオ圧縮形式 .....	10
帯域幅とストレージ容量を削減する .....	11
ネットワークストレージを設定する .....	11
録画に音声を追加する .....	11
ビデオを録画して見る .....	12
ループアラートを設定する .....	12
アクションをトリガーする .....	12
カメラが動きを検知したときにビデオを録画する .....	12
アプリケーション .....	13
<b>トラブルシューティング</b> .....	14
工場出荷時の設定にリセットする .....	14
ファームウェアオプション .....	14
現在のファームウェアを確認する .....	14
ファームウェアのアップグレード .....	15
技術的な問題、ヒント、解決策 .....	15
パフォーマンスに関する一般的な検討事項 .....	17
<b>仕様</b> .....	18
SDカードスロット .....	19
ボタン .....	19
コネクター .....	19

# AXIS P1375 Network Camera

## 製品の概要

### 製品の概要



- 1 microSDカードスロット
- 2 ステータスLED
- 3 内蔵マイクロフォン
- 4 ズーム調節レバー
- 5 フォーカスリング固定ネジ
- 6 フォーカスリング
- 7 電源コネクタ (DC)
- 8 T92G20コネクタ
- 9 コントロールボタン
- 10 RS485/422コネクタ
- 11 I/Oコネクタ
- 12 i-CSコネクタ (PアイリスおよびDCアイリスと互換)
- 13 セキュリティスロット
- 14 音声入力 (アナログ/デジタル)
- 15 音声出力
- 16 ネットワークコネクタ (PoE)

# AXIS P1375 Network Camera

## ネットワーク上のデバイスを検索する

---

### ネットワーク上のデバイスを検索する

Windows®でAxisデバイスを探してIPアドレスの割り当てを行う方法については、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してください。いずれのアプリケーションも無料で、[axis.com/support](http://axis.com/support)からダウンロードできます。

IPアドレスの検索や割り当てを行う方法の詳細については、デバイスページ ([axis.com](http://axis.com)) にあるドキュメント『*IPアドレスを割り当ててデバイスにアクセスする方法*』を参照してください。

### デバイスへのアクセス

1. ブラウザーを開き、AxisデバイスのIPアドレスまたはホスト名を入力します。  
  
Macコンピューター (OS X) の場合は、SafariでBonjourをクリックし、ドロップダウンリストからデバイスを選択します。Bonjourをブラウザのブックマークとして追加するには、**[Safari > Preferences (Safari > 設定)]** に移動します。  
  
本製品のIPアドレスが不明な場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用して、ネットワーク上でデバイスを見つけます。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。初めてデバイスにアクセスする場合は、rootパスワードを設定する必要があります。 *5 ページのrootアカウントの安全なパスワードを設定する*を参照してください。
3. ブラウザーでライブビューページが開きます。

### ファームウェアが改ざんされていないことを確認する

デバイスが元のアクシスファームウェアを使用していることを確認したり、セキュリティ攻撃を受けた後にデバイスを完全に制御したりする場合は次を行ってください。

1. 工場出荷時の設定にリセットする。 *14ページの工場出荷時の設定にリセットする*を参照してください。  
  
リセットを行うと、デバイスの状態がセキュアブートによって保証されます。
2. デバイスを設定し、インストールします。

### 安全なパスワード

#### 重要

Axisデバイスは、最初に設定されたパスワードをネットワーク上で平文で送信します。最初のログイン後にデバイスを保護するために、安全で暗号化されたHTTPS接続を設定してからパスワードを変更してください。

デバイスのパスワードは主にデータおよびサービスを保護します。Axisデバイスは、さまざまなタイプのインストールで使用できるようにするためパスワードポリシーを強制しません。

データを保護するために、次のことが強く推奨されています。

- 8文字以上のパスワードを使用する (できればパスワード生成プログラムで作成する)。
- パスワードを公開しない。
- 一定の期間ごとにパスワードを変更する (少なくとも年に1回)。

# AXIS P1375 Network Camera

## ネットワーク上のデバイスを検索する

---

### rootアカウントの安全なパスワードを設定する

**重要**

デフォルトの管理者ユーザー名はrootです。rootのパスワードを忘れた場合は、デバイスを工場出荷時の設定にリセットしてください。

1. パスワードを入力します。安全なパスワードを設定する手順に従います。4ページの安全なパスワードを参照してください。
2. パスワードを再入力して、スペルを確認します。
3. [Create login (ログインの作成)] をクリックします。これでパスワードが設定されました。

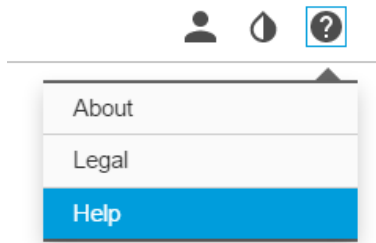
# AXIS P1375 Network Camera

## 設定

### 設定

#### さらに支援が必要ですか？

デバイスのWebページから内蔵のヘルプにアクセスできます。このヘルプでは、デバイスの機能やその設定に関する詳細情報を提供しています。



#### レンズの交換

1. 全ての録画を停止し、本製品の電源を切ります。
2. レンズのケーブルを外して標準レンズを取り外します。
3. 新しいレンズを取り付けてレンズケーブルを接続します。
4. 電源に再接続します。
5. 本製品のWebページにログインして [Image (画像)] タブに移動してから、取り付けた [P-Iris lens (Pアイリスレンズ)] を選択します。

#### 注意

DCアイリスレンズの場合は、[Generic DC iris (汎用DCアイリス)] オプションを選択してください。

6. 変更を反映するには、デバイスを再起動する必要があります。[System > Maintenance (システム > メンテナンス)] に移動して、[Restart (再起動)] をクリックします。
7. フォーカスとズームを調整します。

#### プライバシーマスクで画像の一部を非表示にする

プライバシーマスクを作成して、画像の一部を非表示にするには:

1. [Settings > Privacy mask (設定 > プライバシーマスク)] に移動します。
2. [New (新規)] をクリックします。

#### 低光量下でノイズを減らす

低光量の条件下でノイズを少なくするために、以下のうち1つ以上の設定を調整することができます。

- [露出モード] を [自動] に設定します。

#### 注意

最大シャッター値が高いと、動きによる画像のブレが生じる場合があります。

# AXIS P1375 Network Camera

## 設定

- シャッター速度を遅くするには、最大シャッターを可能な最大値に設定します。
- 画像のシャープネスを下げます。
- 最大ゲインをより低い値に設定します。

### 露出モードを選択する

特定の監視シーンの画質を向上させるために、開口、シャッター速度、およびゲインを調整するカメラの露出モードにはさまざまなオプションがあります。[Settings > Image > Exposure (設定 > 画像 > 露出)]に移動し、以下の露出モードから選択します。

- ほとんどの用途では、[Automatic (自動)] 露出を選択します。
- 蛍光灯など、特定の人工照明がある環境では、[Flicker-free (ちらつき防止)] を選択します。  
電源周波数と同じ周波数を選択します。
- 蛍光灯照明がある夜間の屋外や太陽光が射す日中の屋外など、特定の人工照明や明るい光がある環境では、[Flicker-reduced (ちらつき低減)] を選択します。  
電源周波数と同じ周波数を選択します。
- 現在の露出設定を固定するには、[Hold current (現在の状態で固定)] を選択します。

### 最大限に詳細な画像を撮影する

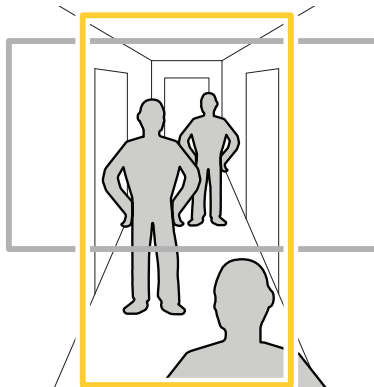
#### 重要

最大限に詳細な画像を撮影すると、ビットレートが増加し、フレームレートが低下する場合があります。

- 圧縮はできるだけ低く設定します。
- MJPEGストリーミングを選択します。
- Zipstream機能をオフにします。

### 細長いエリアを監視する


階段、廊下、道路またはトンネルなどの細長いエリアにおける視野をすべてよりよく活用するためには、Corridor Formatを使用します。



1. デバイスによって、カメラまたはカメラの3軸レンズの向きを90° または270° 回転します。

# AXIS P1375 Network Camera

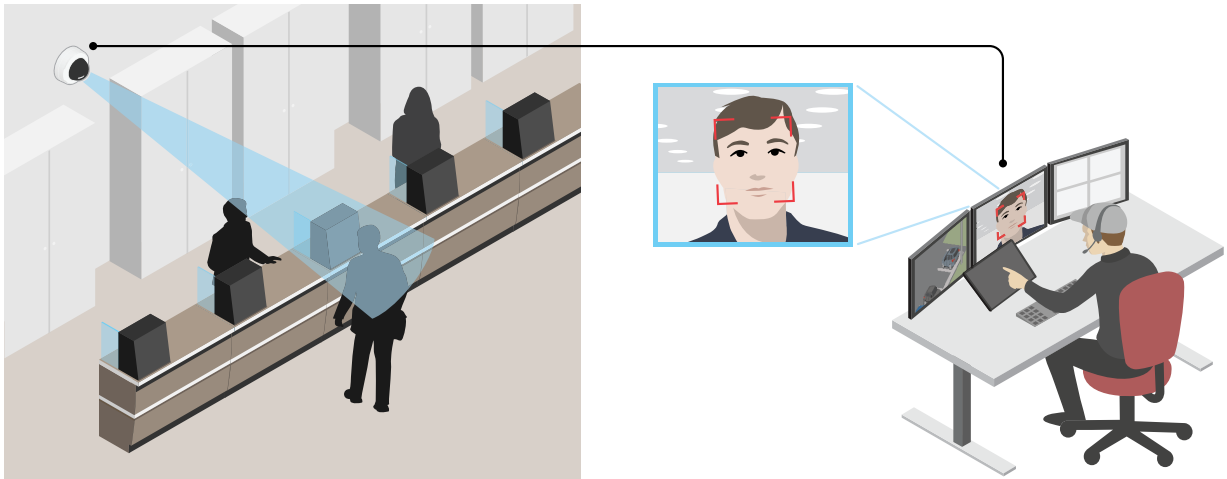
## 設定


2. デバイスの視野が自動的に回転しない場合は、Webページにログインし、[Settings (設定)] > [System (システム)] > [Orientation (向き)] に移動します。
3.  をクリックします。
4. 視野を90° または270° 回転させます。

詳細については、[axis.com/axis-corridor-format](http://axis.com/axis-corridor-format)をご覧ください。

## 顔認識を向上させる

カメラのそばを通過する人物の顔をより正確に認識するために、カメラのピクセルカウンターで最適なピクセル数を設定することができます。



1. [Settings > System (設定 > システム)] > [Orientation (向き)] に移動して  をクリックします。
2. 通過する人物の顔が表示されることが予想される位置など、対象範囲のカメラのライブビューで、矩形のサイズおよび配置を調整します。そうすると、矩形の側面にピクセル数が表示されます。

### 注意

ビュー内の既知サイズの物体を参考にして、認識にはどの程度の解像度が必要かどうかを決定することができます。

## ビューエリアについて

ビューエリアは、全体画像から一部をクリッピングした画像です。全体画像の代わりにビューエリアをストリーミングおよび保存することで、必要な帯域幅とストレージ容量を最小限に抑えることができます。ビューエリアに対してPTZを有効にすると、そのビューエリア内でパン/チルト/ズームを行うことができます。ビューエリアを使用すると、空など全体画像の一部を削除することができます。

ビューエリアを設定するときは、ビデオストリームの解像度をビューエリアのサイズ以下のサイズにすることをお勧めします。ビデオストリームの解像度をビューエリアのサイズより大きいサイズに設定すると、センサーがキャプチャーした後にビデオがデジタルで拡大されるため、画像情報の追加なしでも必要な帯域幅が増えます。



# AXIS P1375 Network Camera

## 設定

### 逆光の強いシーンを処理する

ダイナミックレンジとは、画像内の明るさのレベルの差のことです。最も暗い部分と最も明るい部分の差がかなり大きい場合があります。その場合、暗い部分が明るい部分の画像だけが見えることがよくあります。ワイドダイナミックレンジ (WDR) を使用すると、画像の暗い部分と明るい部分の両方が見えるようになります。

1. [Settings > Image > Wide dynamic range (設定 > 画像 > ワイドダイナミックレンジ)] に移動します。
2. 必要に応じて、WDRをオンにします。
3. [Local contrast (ローカルコントラスト)] スライダーを使用して、WDRの量を調整します。



WDRを使用していない画像。



WDRを使用している画像。

#### 注意

WDRを使用すると、画像にノイズが発生することがあります。

WDRとその使用方法の詳細については、[axis.com/web-articles/wdr](http://axis.com/web-articles/wdr)をご覧ください。

オーバーレイは、ビデオストリームに重ねて表示されます。オーバーレイは、タイムスタンプなどの録画時の補足情報や、製品のインストール時および設定時の補足情報を表示するために使用します。テキストまたは画像を追加できます。

### デバイスが動きを検知したときにビデオストリームにテキストオーバーレイを表示する

この例では、デバイスが動きを検知したときに「動体検知」というテキストを表示する方法を示します。

AXIS Video Motion Detectionアプリケーションが実行されていることの確認:

1. [Settings > Apps (設定 > アプリ)] > [AXIS Video Motion Detection] に移動します。
2. アプリケーションが実行されていない場合は、起動します。

# AXIS P1375 Network Camera

## 設定

- ニーズに合わせてアプリケーションを設定していることを確認します。

オーバーレイテキストの追加:

- [Settings > Overlay (設定 > オーバーレイ)] に移動します。
- [Create overlay (オーバーレイを作成する)] を選択し、[Text (テキスト)] オーバーレイを選択します。
- テキストフィールドに「#D」と入力します。
- テキストのサイズと外観を選択します。
- テキストオーバーレイを配置するには、[Custom (カスタム)] を選択するか、プリセットの1つを選択します。

アクションルールの作成:

- [System > Events (システム > イベント)] > [Action rules (アクションルール)] の順に移動します。
- AXIS Video Motion Detectionをトリガーにするアクションルールを作成します。
- アクションのリストから、[Overlay text (オーバーレイテキスト)] を選択します。
- 「動体検知」と入力します。
- 期間を設定します。

### 注意

オーバーレイテキストを更新すると、自動的にすべてのビデオストリームでテキストが動的に更新されます。

## ビデオ圧縮形式

使用する圧縮方式は、表示要件とネットワークのプロパティに基づいて決定します。以下から選択を行うことができます。

### Motion JPEG

#### 注意

Opus音声コーデックを確実にサポートするために、Motion JPEGストリームが常にRTP経由で送信されます。

Motion JPEGまたはMJPEGは、個々のJPEG画像の連続で構成されたデジタルビデオシーケンスです。これらの画像は、十分なレートで表示、更新されることで、連続的に更新される動きを表示するストリームが作成されます。人間の目に動画として認識されるためには、1秒間に16以上の画像を表示するフレームレートが必要になります。フルモーションビデオは、1秒間に30フレーム (NTSC) または25フレーム (PAL) で動画と認識されます。

Motion JPEGストリームは、かなりの帯域幅を消費しますが、画質に優れ、ストリームに含まれるすべての画像にアクセスできます。

### H.264またはMPEG-4 Part 10/AVC

#### 注意

H.264はライセンスされた技術です。本製品には、H.264閲覧用のクライアントライセンスが1つ添付されています。ライセンスされていないクライアントのコピーをインストールすることは禁止されています。ライセンスを追加購入するには、Axisの販売代理店までお問い合わせください。

H.264を使用すると、画質を損なうことなく、デジタル映像ファイルのサイズを削減でき、Motion JPEG形式の場合と比較すると80%以上、MPEG-4標準規格と比較すると50%以上を削減できます。そのため、ビデオファイルに必要なネットワーク帯域幅やストレージ容量が少なくなります。また、別の見方をすれば、より優れた映像品質が同じビットレートで得られることになります。

### H.265またはMPEG-H Part 2/HEVC

# AXIS P1375 Network Camera

## 設定

---

### 注意

H.265はライセンスされた技術です。本製品には、H.265閲覧用のクライアントライセンスが1つ添付されています。ライセンスされていないクライアントのコピーをインストールすることは禁止されています。ライセンスを追加購入するには、Axisの販売代理店までお問い合わせください。

## 帯域幅とストレージ容量を削減する

### 重要

帯域幅を削減すると、画像の詳細度が失われる可能性があります。

1. ライブビューに移動し、[H.264] を選択します。
2. [Settings > Stream (設定 > ストリーム)] に移動します。
3. 以下の操作を1つ以上実行します。
  - Zipstream機能をオンにし、希望のレベルを選択する。

### 注意

Zipstream設定はH.264とH.265の両方で使用されます。

- ダイナミックGOPをオンにし、GOP長を高い値に設定する。
- 圧縮度を増やす。
- ダイナミックFPSをオンにする。

### 注意

WebブラウザではH.265のデコーディングをサポートしていません。H.265のデコーディングに対応した映像管理システムまたはアプリケーションを使用してください。

## ネットワークストレージを設定する

ネットワーク上に録画を保存するには、以下のようにネットワークストレージを設定する必要があります。

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [Storage (ストレージ)] の順に移動します。
2. [Network storage (ネットワークストレージ)] の [Setup (設定)] をクリックします。
3. ホストサーバーのIPアドレスを入力します。
4. ホストサーバー上の共有場所の名前を入力します。
5. 共有にログインが必要な場合はスイッチを移動し、ユーザー名とパスワードを入力します。
6. [Connect (接続)] をクリックします。

## 録画に音声を追加する

録画に使用するストリームプロファイルを編集します。

1. [Settings > System (設定 > システム)] > [Stream profiles (ストリームプロファイル)] の順に移動します。
2. ストリームプロファイルを選択し、[Modify (変更)] をクリックします。
3. [Audio (音声)] タブで、[Audio stream (音声ストリーム)] チェックボックスを選択し、ドロップダウンリストから [On (オン)] を選択します。
4. [Ok] をクリックします。

# AXIS P1375 Network Camera

## 設定

### ビデオを録画して見る

ビデオを録画するには、まずネットワークストレージを設定するか(「11ページのネットワークストレージを設定する」参照)、SDカードを挿入する必要があります。

1. カメラのライブビューを表示します。
2. [Record (録画)] を一度クリックすると録画が開始され、もう一度クリックすると録画が停止されます。

録画を表示するには

1. [Storage > Go to recordings (ストレージ > 録画を表示)] をクリックします。
2. リストの録画を選択すると、その録画が自動的に再生されます。

### ルールとアラートを設定する

特定のイベントが発生したときにデバイスにアクションを実行させるように、ルールを作成することができます。ルールは条件とアクションで構成されます。条件を使用して、アクションをトリガーすることができます。たとえば、デバイスは動きを検知したときに、録画を開始したり、電子メールを送信したりすることができます。録画時にオーバーレイテキストを表示することができます。

### アクションをトリガーする

1. [Settings > System > Events (設定 > システム > イベント)] に移動し、アクションルールを設定します。アクションルールによって、カメラが一定のアクションを実行するタイミングを定義します。アクションルールは、スケジュール、繰り返し、または動体検知によるトリガーなどを利用して設定できます。
2. アクションをトリガーする条件となるトリガーを選択します。アクションルールに複数のトリガーを指定した場合、すべてのトリガーが満たされたときにアクションがトリガーされます。
3. 条件が満たされたときにカメラが実行する [Action (アクション)] を選択します。

#### 注意

アクティブなアクションルールを変更する場合は、アクションルールを再起動して変更内容を有効にする必要があります。

### カメラが動きを検知したときにビデオを録画する

この例では、カメラが動きを検知する5秒前にSDカードへの録画を開始し、1分後に停止するようにカメラを設定する方法を示します。

AXIS Video Motion Detectionアプリケーションが実行されていることの確認:

1. [Settings > Apps (設定 > アプリ)] > [AXIS Video Motion Detection] に移動します。
2. アプリケーションが実行されていない場合は、起動します。
3. ニーズに合わせてアプリケーションを設定していることを確認します。

アクションルールの作成:

1. [設定 > システム > イベント] に移動し、アクションルールを追加します。
2. アクションルールの名前を入力します。
3. トリガーのリストから [Applications (アプリケーション)] を選択し、[AXIS Video Motion Detection (VMD)] を選択します。
4. アクションのリストから、[Record video (ビデオを録画する)] を選択します。

# AXIS P1375 Network Camera

## 設定

---

5. 既存のストリームプロファイルを選択するか、新しいプロファイルを作成します。
6. プリトリガー時間を有効にして5秒に設定します。
7. **[While the rule is active (ルールがアクティブである間)]** を有効にします。
8. ポストトリガー時間を有効にして60秒に設定します。
9. ストレージオプションのリストから、**[SD card (SDカード)]** を選択します。
10. **[Ok]** をクリックします。

## アプリケーション

AXIS Camera Application Platform (ACAP) は、サードパーティによるAxis製品向けの分析アプリケーションやその他のアプリケーションの開発を可能にするオープンプラットフォームです。入手可能なアプリケーション、アプリケーションのダウンロード、試用版アプリケーション、およびライセンスの詳細については、[axis.com/applications](https://axis.com/applications)を参照してください。

Axisアプリケーションのユーザーズマニュアルについては、[axis.com](https://axis.com)を参照してください。

### 注意

- 同時に複数のアプリケーションを実行できますが、互いに互換性がないアプリケーションもあります。アプリケーションの特定の組み合わせによっては、並行して実行すると過度の処理能力やメモリーリソースが必要になる場合があります。アプリケーションを展開する前に、同時に実行できることを確認してください。

# AXIS P1375 Network Camera

## トラブルシューティング

### トラブルシューティング

このページで解決策が見つからない場合は、[axis.com/support](https://axis.com/support)のセクションに記載されているトラブルシューティングを行ってください。

### 工場出荷時の設定にリセットする

#### 重要

工場出荷時の設定へのリセットは慎重に行ってください。工場出荷時の設定へのリセットを行うと、IPアドレスを含むすべての設定が工場出荷時の値にリセットされます。

本製品を工場出荷時の設定にリセットするには、以下の手順を実行します。

1. 本製品の電源を切ります。
2. コントロールボタンを押した状態で電源を再接続します。3 ページの、[製品の概要](#)を参照してください。
3. ステータスLEDインジケーターが黄色に点滅するまで、コントロールボタンを15～30秒間押し続けます。
4. コントロールボタンを離します。プロセスが完了すると、ステータスLEDが緑色に変わります。これで本製品は工場出荷時の設定にリセットされました。ネットワーク上に利用可能なDHCPサーバーがない場合、デフォルトのIPアドレスは192.168.0.90になります。
5. インストールおよび管理ソフトウェアツールを使用してIPアドレスの割り当て、パスワードの設定、ビデオストリームへのアクセスを行います。

[axis.com/support](https://axis.com/support)のサポートページに、インストールおよび管理ソフトウェアツールが用意されています。

Webインターフェースを使用して、各種パラメーターを工場出荷時の設定に戻すこともできます。**Settings > System > Maintenance (設定 > システム > メンテナンス)** を選択し、**Default (デフォルト)** をクリックします。

### ファームウェアオプション


アクシスでは、アクティブトラックまたはLTS (長期サポート) トラックのどちらかに従って、製品のファームウェアを管理することができます。アクティブトラックでは、最新の製品機能すべてに常時アクセスできますが、LTSトラックの場合、バグフィックスやセキュリティ更新に重点を置いた定期的リリースが提供される固定プラットフォームを使用します。

最新の機能にアクセスする場合、またはアクシスのエンドツーエンドシステムの機能を利用する場合は、アクティブトラックのファームウェアを使用することをお勧めします。最新のアクティブトラックに対して継続的な検証が行われないサードパーティの統合を使用する場合は、LTSトラックをお勧めします。LTSにより、大きな機能的な変更や既存の統合に影響を与えることなく、サイバーセキュリティを維持することができます。アクシス製品のファームウェア戦略の詳細については、[axis.com/support/firmware](https://axis.com/support/firmware)を参照してください。

### 現在のファームウェアを確認する

ファームウェアは、ネットワークデバイスの機能を決定するソフトウェアです。問題のトラブルシューティングを行う際には、まず、現在のファームウェアバージョンを確認してください。最新バージョンには、特定の問題の修正が含まれていることがあります。

現在のファームウェアを確認するには:

1. 製品のWebページに移動します。
2. ヘルプメニューをクリックします。 

# AXIS P1375 Network Camera

## トラブルシューティング

---

3. [About (バージョン情報)] をクリックします。

### ファームウェアのアップグレード

#### 重要

事前設定済みの設定とカスタム設定は、(その機能が新しいファームウェアで利用できる場合)、ファームウェアのアップグレード時に保存されます。ただし、この動作をAxis Communications ABが保証しているわけではありません。

#### 重要

アップグレードプロセス中は、本製品を電源に接続したままにしてください。

#### 注意

アクティブトラックから最新のファームウェアをダウンロードして製品をアップグレードすると、製品に最新機能が追加されます。ファームウェアを更新する前に、ファームウェアとともに提供されるアップグレード手順とリリースノートを必ずお読みください。最新ファームウェアおよびリリースノートについては、[axis.com/support/firmware](http://axis.com/support/firmware)を参照してください。

1. ファームウェアファイルをコンピューターにダウンロードします。ファームウェアファイルは[axis.com/support/firmware](http://axis.com/support/firmware)から無料で入手できます。
2. 製品に管理者としてログインします。
3. [Settings > System > Maintenance (設定 > システム > メンテナンス)] の順に移動します。ページの指示に従います。アップグレードが完了すると、製品は自動的に再起動します。

複数のアップグレードを行う場合は、AXIS Device Managerを使用できます。詳細については、[axis.com/products/axis-device-manager](http://axis.com/products/axis-device-manager)をご覧ください。

### 技術的な問題、ヒント、解決策

このページで解決策が見つからない場合は、[axis.com/support](http://axis.com/support)のセクションに記載されているトラブルシューティングを行ってください。

#### ファームウェアのアップグレードで問題が発生する

---

ファームウェアのアップグレード失敗	ファームウェアのアップグレードに失敗した場合、デバイスは以前のファームウェアを再度読み込みます。不正なファームウェアファイルがアップロードされていることが最もよくある原因です。デバイスに対応したファームウェアファイル名であることを確認し、再試行してください。
ファームウェアのアップグレード後に問題が発生する	ファームウェアのアップグレード後に問題が発生する場合は、[Maintenance (メンテナンス)] ページから、以前にインストールされたバージョンにロールバックします。

#### IPアドレスの設定で問題が発生する

---

デバイスが別のサブネット上にある	デバイス用のIPアドレスと、デバイスへのアクセスに使用するコンピューターのIPアドレスが異なるサブネットにある場合は、IPアドレスを設定できません。ネットワーク管理者に連絡して、適切なIPアドレスを取得してください。
------------------	--

# AXIS P1375 Network Camera

## トラブルシューティング

---

IPアドレスが別のデバイスで使用されている	デバイスをネットワークから切断します。pingコマンドを実行します(コマンドウィンドウまたはDOSウィンドウで、pingコマンドとデバイスのIPアドレスを入力します)。 <ul style="list-style-type: none"><li>もし、「Reply from &lt;IPアドレス&gt;: bytes=32; time=10...」という応答を受取った場合は、ネットワーク上の別のデバイスでIPアドレスがすでに使用中の可能性があります。ネットワーク管理者から新しいIPアドレスを取得し、デバイスを再度インストールしてください。</li><li>もし、「Request timed out」が表示された場合は、AxisデバイスでそのIPアドレスを使用できます。この場合は、すべてのケーブル配線をチェックし、デバイスを再度インストールしてください。</li></ul>
同じサブネット上の別のデバイスとIPアドレスが競合している可能性がある	DHCPサーバーによって動的アドレスが設定される前は、Axisデバイスの静的IPアドレスが使用されます。つまり、デフォルトの静的IPアドレスが別のデバイスでも使用されていると、デバイスへのアクセスに問題が発生する可能性があります。

### ブラウザからデバイスにアクセスできない

---

ログインできない	HTTPSが有効なときは、正しいプロトコル(HTTPまたはHTTPS)を使用してログインしてください。ブラウザのアドレスフィールドに、手動で「http」または「https」と入力する必要がある場合があります。  rootユーザーのパスワードを忘れた場合は、デバイスを工場出荷時の設定にリセットする必要があります。14ページの工場出荷時の設定にリセットするを参照してください。
DHCPによってIPアドレスが変更された	DHCPサーバーから取得したIPアドレスは動的なアドレスであり、変更されることがあります。IPアドレスが変更された場合は、AXIS IP UtilityまたはAXIS Device Managerを使用してデバイスのネットワーク上の場所を特定してください。デバイスのモデルまたはシリアル番号、あるいはDNS名(設定されている場合)を使用してデバイスを識別します。  必要に応じて、静的IPアドレスを手動で割り当てることができます。手順については、 <a href="http://axis.com/support">axis.com/support</a> を参照
IEEE 802.1X使用時の証明書エラー	認証を正しく行うには、Axisデバイスの日付と時刻をNTPサーバーと同期させなければなりません。[Settings > System > Date and time (設定 > システム > 日付と時刻)]の順に移動します。

### デバイスにローカルにアクセスできるが、外部からアクセスできない

---

デバイスに外部からアクセスする場合は、以下のいずれかのWindows®向けアプリケーションを使用することをお勧めします。

- AXIS Companion: 無料で使用でき、基本的な監視ニーズがある小規模システムに最適です。
  - AXIS Camera Station: 30日間の試用版を無料で使用でき、中小規模のシステムに最適です。
- 手順とダウンロードについては、[axis.com/products/axis-companion](http://axis.com/products/axis-companion)を参照してください

### ストリーミングの問題

---

ローカルクライアントしかマルチキャストH.264にアクセスできない	ルーターがマルチキャストをサポートしているかどうか、またはクライアントとデバイス間のルーター設定を行う必要があるかどうかを確認してください。TTL (Time To Live) 値を上げる必要がある場合もあります。
H.264のマルチキャスト画像がクライアントで表示されない	Axisデバイスで使用されたマルチキャストアドレスが有効かどうか、ネットワーク管理者に確認してください。  ファイアウォールが表示を妨げていないかどうか、ネットワーク管理者に確認してください。



# AXIS P1375 Network Camera

## トラブルシューティング

H.264画像のレンダリング品質が悪い	グラフィックカードで最新のデバイスドライバーが使用されていることを確認してください。最新のドライバーは、通常、メーカーのWebサイトからダウンロードできます。
彩度がH.264とMotion JPEGで異なる	グラフィックアダプターの設定を変更します。詳細については、グラフィックカードのマニュアルページに移動してください。
フレームレートが予想したレートより低い	<ul style="list-style-type: none"><li>17ページのパフォーマンスに関する一般的な検討事項を参照してください。</li><li>クライアントコンピュータで実行されているアプリケーションの数を減らします。</li><li>同時閲覧者の数を制限します。</li><li>使用可能な帯域幅が十分かどうか、ネットワーク管理者に確認します。</li><li>画像の解像度を下げます。</li><li>Axisデバイスの周波数 (60/50 Hz) によって、最大フレーム/秒は異なります。</li></ul>
ライブビューでH.265エンコード方式を選択できない	WebブラウザではH.265のデコーディングをサポートしていません。H.265のデコーディングに対応した映像管理システムまたはアプリケーションを使用してください。

## パフォーマンスに関する一般的な検討事項

システムを設定する際には、さまざまな設定や条件がシステムのパフォーマンスにどのように影響するかを検討することが重要です。ある要因は必要な帯域幅の量 (ビットレート) に影響し、他の要因はフレームレートに影響し、帯域幅とフレームレートの両方に影響する事柄もあります。CPUの負荷が最大に達した場合も、フレームレートに影響を及ぼします。

最も重要な検討事項には次のようなものがあります。

- 画像解像度が高い、または圧縮レベルが低いと、画像のファイルサイズが増大し、結果的に帯域幅に影響を及ぼします。
- GUIで画像を回転させると、製品のCPU負荷が増加します。
- Motion JPEGまたはユニキャストH.264を使用するクライアントのアクセス数が多すぎると帯域幅に影響を及ぼします。
- 様々なクライアントが様々な解像度や圧縮方式が異なるストリームを同時に閲覧すると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。  
フレームレートを高く維持するために、できる限り同一ストリームを使用してください。ストリームプロファイルを使用すると、ストリームを同一に揃えることができます。
- Motion JPEGおよびH.264のビデオストリームに同時にアクセスすると、フレームレートと帯域幅の両方に影響を及ぼします。
- イベント設定を多用すると、製品のCPU負荷に影響が生じ、その結果、フレームレートに影響します。
- 特に、Motion JPEGのストリーミングでは、HTTPSを使用するとフレームレートが低くなる場合があります。
- インフラストラクチャーが貧弱なネットワークの使用率が高いと帯域幅に影響します。
- パフォーマンスの低いクライアントコンピュータで閲覧すると感知するパフォーマンスが低くなり、フレームレートに影響します。
- 複数のAXIS Camera Application Platform (ACAP) アプリケーションを同時に実行すると、フレームレートと全般的なパフォーマンスに影響する場合があります。

# AXIS P1375 Network Camera

## 仕様

### 仕様

最新バージョンの製品のデータシートについては、[axis.com](http://axis.com)で本製品のページを開いて「Support & Documentation (サポートとドキュメント)」へお進みください。

### LEDインジケータ

#### 注意

- ステータスLEDは、正常動作時に消灯させることができます。設定するには、[Settings > System > Plain config (設定 > システム > プレイン設定)]の順に移動します。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステータスLEDは、イベントの発生時に点滅させることができます。
- ステータスLEDを点滅させ、本製品を識別できるように設定することができます。[Settings > System > Plain config (設定 > システム > プレイン設定)]の順に移動します。

ステータスLED	説明
無点灯	接続時と正常動作時は、無点灯のままです。
緑	起動後正常に動作する場合、10秒間、緑色に点灯します。
黄	起動時に点灯し、ファームウェアのアップグレード時と工場出荷時設定へのリセット時に点滅します。
黄/赤	ネットワーク接続が利用できないか、失われた場合は、黄色/赤色で点滅します。
赤	ファームウェアのアップグレード失敗。

ネットワークLED	説明
緑	1 Gbit/sネットワークに接続している場合、点灯します。ネットワークパケットを送受信した場合、点滅します。
黄	10/100 Mbit/sネットワークに接続している場合、点灯します。ネットワークパケットを送受信した場合、点滅します。
無点灯	ネットワーク接続なし。

### フォーカスアシスタント用ステータスLEDの動作

#### 注意

オプションのPアイリス、DCアイリスレンズ、または手動アイリスの各種レンズでのみ有効です。

フォーカスアシスタントが有効のとき、ステータスLEDが点滅します。

カラー	説明
赤	画像がピンぼけしています。 レンズを調整してください。
黄	画像が近すぎてピンぼけしています。 レンズの微調整を行う必要があります。
緑	画像のピントが合っています。

# AXIS P1375 Network Camera

## 仕様

### SDカードスロット

#### 注記

- SDカード損傷の危険があります。SDカードの挿入と取り外しの際には、鋭利な工具や金属性の物を使用したり、過剰な力をかけたりしないでください。カードの挿入や取り外しは指で行ってください。
- データ損失や録画データ破損の危険があります。本製品の稼働中はSDカードを取り外さないでください。取り外しの前に、製品のWebページからSDカードをマウント解除してください。

本製品は、microSD/microSDHC/microSDXCカードに対応しています。

推奨するSDカードについては、[axis.com](http://axis.com)を参照してください

 microSD、microSDHC、およびmicroSDXCロゴは、SD-3C LLCの商標です。microSD、microSDHC、microSDXCは、米国および/または他の国々におけるSD-3C, LLCの商標または登録商標です。

### ボタン

#### コントロールボタン

コントロールボタンは、以下の用途で使用します。

- フォーカスアシスタントを有効にする。コントロールボタンを押して、すぐに離します。
- 製品を工場出荷時の設定にリセットする。14ページの工場出荷時の設定にリセットするを参照してください。
- AXIS Video Hosting Systemサービスに接続する。接続するには、ステータスLEDが緑色に点滅するまで約3秒間ボタンを押し続けます。

### コネクタ

#### ネットワークコネクタ

RJ45イーサネットコネクタ、Power over Ethernet (PoE) 対応。

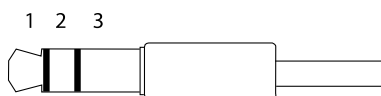
#### 音声コネクタ

本製品は、以下の音声コネクタを搭載しています。

- 音声入力(ピンク)** – モノラルマイクロフォンまたはライン入力モノラル信号用3.5 mm入力。
- 音声出力(緑)** – パブリックアドレス (PA) システムまたはアンプ内蔵アクティブスピーカーに接続可能な3.5 mm音声(ラインレベル)出力。音声出力には、ステレオコネクタを使用することをお勧めします。

音声入力には、ステレオ信号の左チャンネルが使用されます。

3.5 mm 音声コネクタ



# AXIS P1375 Network Camera

## 仕様

	1 チップ	2 リング	3 スリーブ
音声入力	マイクロフォン/ライン入力	マイクロフォンバイアス電圧	グラウンド
音声出力	ライン出力、モノラル	ライン出力、モノラル	グラウンド

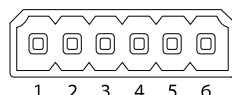
### I/Oコネクタ

I/Oコネクタに外部装置を接続し、動体検知、イベントトリガー、アラーム通知などと組み合わせて使用することができます。I/Oコネクタは、0V DC基準点と電力(DC出力)に加えて、以下のインターフェースを提供します。

**デジタル入力** - オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイス (PIRセンサー、ドア/窓の接触、ガラス破損検知器など) を接続するための入力です。

**状態監視** - デジタル入力でのいたずら検知機能が有効になります。

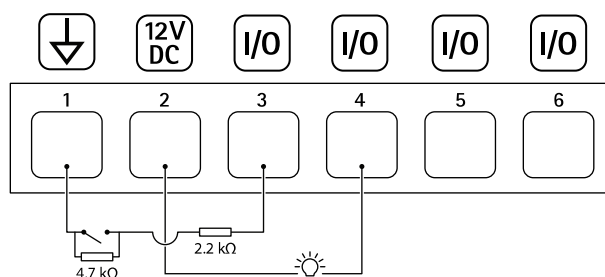
**デジタル出力** - リレーやLEDなどの外部デバイスを接続します。接続されたデバイスは、VAPIX®アプリケーションプログラミングインターフェースまたは製品のWebページから有効にすることができます。



機能	ピン	備考	仕様
DCグラウンド	1		0 V DC
DC出力	2	補助装置の電源供給に使用できます。 注: このピンは、電源出力としてのみ使用できます。	12 V DC 最大負荷 = 50 mA
入力1	3	デジタル入力/状態監視 - 動作させるにはピン1に接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) のままにします。状態監視を使用するには、終端抵抗器を設置します。抵抗器を接続する方法については、接続図を参照してください。	0~30 V DC (最大)
出力1	4	デジタル出力 - アクティブ時はピン1 (DCグラウンド) に内部で接続し、非アクティブ時はフロート状態 (未接続) になります。リレーなどの誘導負荷とともに使用する場合は、過渡電圧から保護するために、負荷と並列にダイオードを接続します。	0~30 V DC (最大)、オープンドレイン、100 mA
入力2	5	デジタル入力/状態監視 - 動作させるにはピン1に接続し、動作させない場合はフロート状態 (未接続) のままにします。状態監視を使用するには、終端抵抗器を設置します。抵抗器を接続する方法については、接続図を参照してください。	0~30 V DC (最大)
出力2	6	デジタル出力 - アクティブ時はピン1 (DCグラウンド) に内部で接続し、非アクティブ時はフロート状態 (未接続) になります。リレーなどの誘導負荷とともに使用する場合は、過渡電圧から保護するために、負荷と並列にダイオードを接続します。	0~30 V DC (最大)、オープンドレイン、100 mA

# AXIS P1375 Network Camera

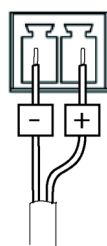
## 仕様



- 1 DCグランド
- 2 DC出力12 V、最大50 mA
- 3 状態監視ポート1
- 4 デジタル出力ポート1
- 5 状態監視ポート2
- 6 デジタル出力ポート2

### 電源コネクタ

DC電源入力用2ピンターミナルブロック。定格出力が100 W以下または5 A以下の安全特別低電圧 (SELV) に準拠した有限電源 (LPS) を使用してください。

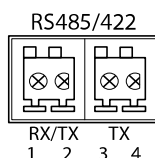


### RS485/RS422コネクタ

パン/チルトデバイスなど補助装置の制御に使用する、RS485/RS422シリアルインターフェース用の2ピンターミナルブロック×2。

シリアルポートの設定により、次のモードをサポート可能。

- 2ワイヤーRS485半二重
- 4ワイヤーRS485全二重
- 2ワイヤーRS422単方向
- 4ワイヤーRS422全二重ポイントツーポイント通信



# AXIS P1375 Network Camera

## 仕様

---

機能	ピン	備考
RS485BまたはRS485/422 RX(B)	1	すべてのモードのRXペア (2ワイヤーRS485のRX/TXペア)
RS485A5BまたはRS485/422 RX(A)	2	
RS485/RS422 TX(B)	3	RS422および4ワイヤーRS485のTXペア
RS485/RS422 TX(A)	4	

### 重要

ケーブルの最大長は30 mです。

### T92G20コネクタ

AXIS T92G20 Outdoor Housingにカメラを取り付ける場合は、このコネクタを使用します。ハウジング内のヒーターや赤外線照明に電力が供給されます。



